

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（設定日：2005年10月24日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ投資することにより、安定した配当収入の確保とともに長期的な信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>日本好配当株マザーファンド</b> わが国の株式
当ファンドの運用方法	■日本好配当株マザーファンドへの投資を通じて、わが国の好配当株式へ分散投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。 ■銘柄選定に当たっては、予想配当利回りの水準に着目しつつ、配当の安定性や成長性、企業の業績動向、株価のバリュエーション（割安性）等を勘案して行います。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資は行いません。 <b>日本好配当株マザーファンド</b> ■株式への投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	■年4回（原則として毎年1月、4月、7月、10月の8日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 日本好配当株オープン

## 【運用報告書(全体版)】

第35作成期（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

第 68 期 / 第 69 期

第68期：決算日 2023年1月10日

第69期：決算日 2023年4月10日

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ投資することにより、安定した配当収入の確保とともに長期的な信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 日本好配当株オープン

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) TOPIX (東証株価指数)		株式組入率 比	株式先物率 比 (買建-売建)	純資産額
	(分配)	税 分 配	込 金	期 騰 落 率	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期 (2021年1月8日)	13,032	20	12.3	1,854.94	12.0	96.4	3.2	11,792
61期 (2021年4月8日)	14,135	20	8.6	1,951.86	5.2	96.2	2.9	12,064
62期 (2021年7月8日)	14,091	20	△ 0.2	1,920.32	△ 1.6	96.4	2.9	11,696
63期 (2021年10月8日)	14,776	20	5.0	1,961.85	2.2	96.2	2.3	11,897
64期 (2022年1月11日)	15,657	20	6.1	1,986.82	1.3	97.1	2.3	12,412
65期 (2022年4月8日)	15,317	20	△ 2.0	1,896.79	△ 4.5	96.2	2.2	12,030
66期 (2022年7月8日)	15,304	20	0.0	1,887.43	△ 0.5	97.0	2.2	11,984
67期 (2022年10月11日)	15,543	20	1.7	1,871.24	△ 0.9	97.1	2.2	12,121
68期 (2023年1月10日)	15,354	20	△ 1.1	1,880.88	0.5	97.1	2.3	11,834
69期 (2023年4月10日)	16,235	20	5.9	1,976.53	5.1	97.0	2.3	12,411

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		( 参 考 指 数 ) TOPIX (東証株価指数)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比 (買建-売建)
		円	騰 落 率	円	騰 落 率		
第68期	(期 首) 2022年10月11日	15,543	—	1,871.24	—	97.1	2.2
	10月末	15,862	2.1	1,929.43	3.1	97.0	2.2
	11月末	16,139	3.8	1,985.57	6.1	97.2	2.3
	12月末	15,573	0.2	1,891.71	1.1	97.1	2.2
	(期 末) 2023年1月10日	15,374	△1.1	1,880.88	0.5	97.1	2.3
第69期	(期 首) 2023年1月10日	15,354	—	1,880.88	—	97.1	2.3
	1月末	16,032	4.4	1,975.27	5.0	96.9	2.3
	2月末	16,368	6.6	1,993.28	6.0	96.8	2.2
	3月末	16,530	7.7	2,003.50	6.5	97.0	2.3
	(期 末) 2023年4月10日	16,255	5.9	1,976.53	5.1	97.0	2.3

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

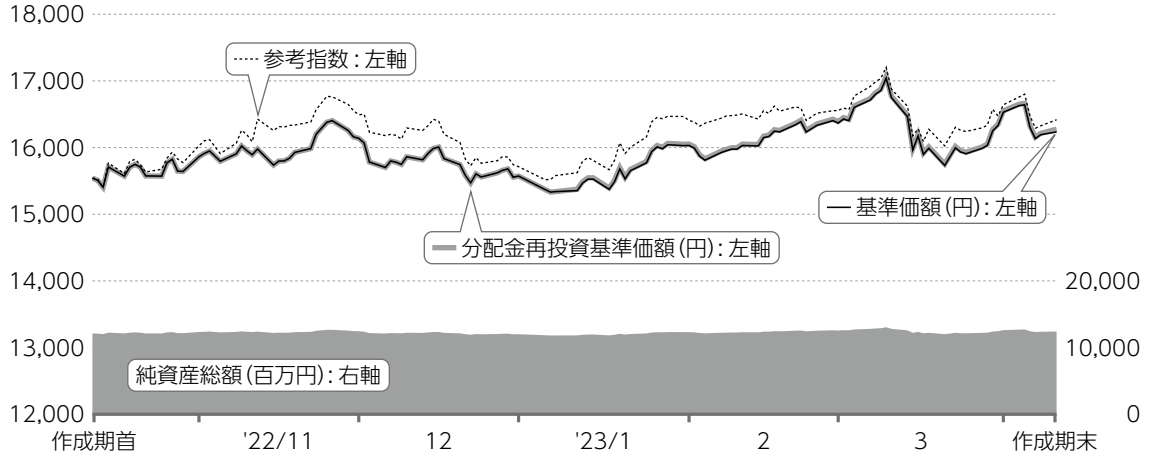
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	15,543円
作成期末 (当作成期既払分配金40円(税引前))	16,235円
騰落率	+4.7% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、TOPIX(東証株価指数)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ投資しました。個別銘柄の“予想配当利回りの水準”に着目しつつ、配当の安定性や成長性、企業の業績動向、株価のバリュエーション(投資価値評価)を勘案して銘柄選択を行いました。

#### 上昇要因

- インバウンド回復期待が高まったこと
- 中国景気回復などから景況感底打ち期待が高まったこと

#### 下落要因

- 日銀が金融政策を修正したこと
- 米国の銀行破綻から金融不安が広がったこと

### 投資環境について(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

**期間における国内株式市場は上昇しました。**

2022年末に日銀が市場の予想に反し金融政策を修正したことから急速な米ドル安・円高が進んだ場面では、リスク回避の動きが一時的に強まりました。しかし、ワクチン接種進展による経済活動正常化や米ドル高・円安の進展を背景とした国内企業業績の回復期待が支えとなり、期前半は概ね横這い圏で推移しました。

年が明けると、米国でのインフレと利上げペース鈍化への期待や、国内でのコロナ

禍からの経済活動の再開期待が支えとなり、じり高の展開となりました。しかし、米国の銀行破綻に欧州大手金融機関の経営不安の報道が重なったことで金融不安が広がると、欧米でリスク回避の動きが強まり、下落しました。その後、各国金融当局が不安解消に向け、預金保護や資金供給などの対応策を迅速に打ち出したことから金融システムに対する過度な不安が和らぎ、期末にかけて持ち直す展開となりました。

### ポートフォリオについて(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

#### 当ファンド

主要投資対象である「日本好配当株マザーファンド」を期を通じて高位に組み入れました。

#### 日本好配当株マザーファンド

ポートフォリオの構築に当たっては、引き続き予想配当利回りの高さや株価の割安性に着目しつつも、流動性、財務安定性、業績動向、利益成長性および株主還元政策、将来の配当の安定性や成長性等も勘案して、投資する銘柄を選別しました。

#### ●株式組入比率

実質株式組入比率は9割以上に保ちました。

## 日本好配当株オープン

### ●業種配分

期末の業種配分比率につきましては、市場対比では卸売業、建設業、情報・通信業などのウェイトを高くしています。一方、電気機器、サービス業、食料品などのウェイトを低くしています。

### ●個別銘柄

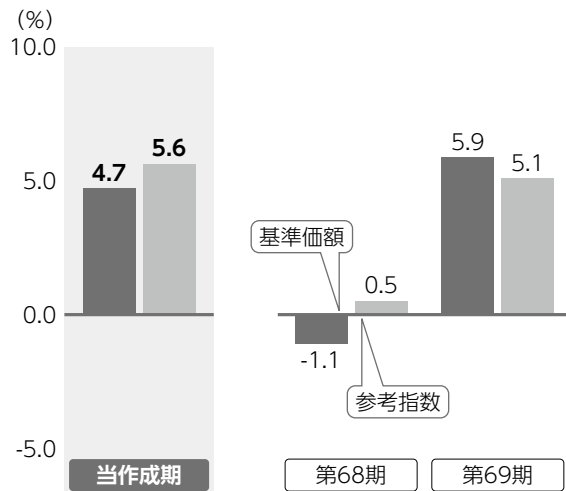
日本電信電話、武田薬品工業などを高い比率で保有しています。

### ●ポートフォリオの特性

高配当利回り、純資産・予想収益面から割安な特性です。

## ベンチマークとの差異について(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

### 基準価額と参考指数の騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金(税引前)込み。

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてTOPIX(東証株価指数)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 分配金について(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第68期	第69期
当期分配金	20	20
(対基準価額比率)	(0.13%)	(0.12%)
当期の収益	－	20
当期の収益以外	20	－
翌期繰越分配対象額	7,285	7,534

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「日本好配当株マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

### 日本好配当株マザーファンド

運用方針としては、引き続き、銘柄の“予想配当利回りの高さ”や株価の割安性に着目しつつも、業績動向、利益成長性および株主還元政策、将来の配当の安定性や成長性等も勘案して銘柄選択を行って参ります。

また同一セクター内でも業績格差が拡大する傾向が続くとみていることから、業績見通しを精査し、堅調な業績が見込める企業への選別投資を進めていく方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## 日本好配当株オープン

### 1万口当たりの費用明細(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>94円</b>	<b>0.589%</b>	<b>信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)</b> 期中の平均基準価額は15,952円です。
(投信会社)	(45)	(0.280)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(44)	(0.276)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>5</b>	<b>0.032</b>	<b>売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.032)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>1</b>	<b>0.004</b>	<b>その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数</b> 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(-)	(-)	
(監査費用)	(1)	(0.004)	
(その他)	(0)	(0.000)	
<b>合計</b>	<b>100</b>	<b>0.625</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

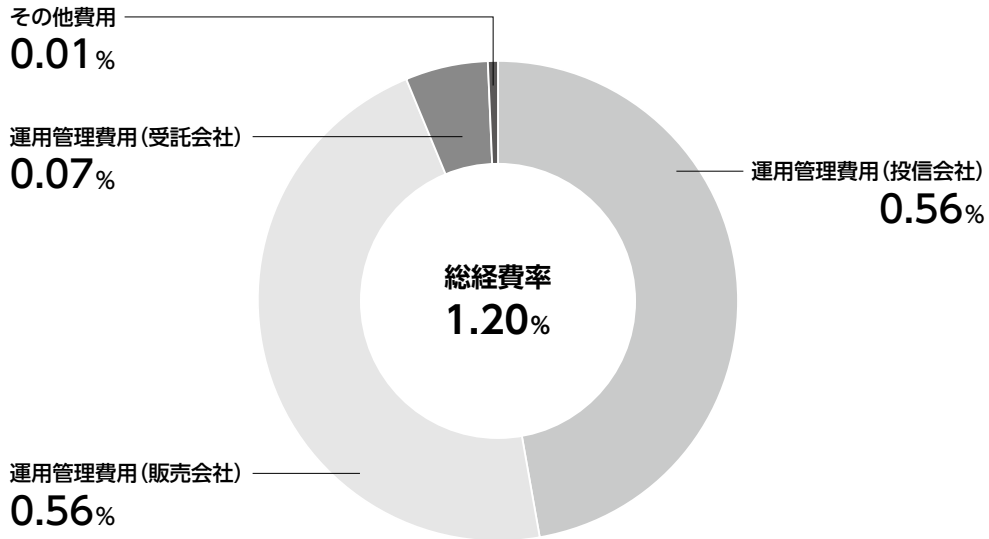
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.20%です。

## 日本好配当株オープン

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2022年10月12日から2023年4月10日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本好配当株マザーファンド	千口 46,533	千円 118,524	千口 188,029	千円 474,258

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

項 目	当 作 成 期
	日 本 好 配 当 株 マ ザ ー フ ァ ン ド
(a) 期中の株式売買金額	5,891,163千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,713,222千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.46

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年10月12日から2023年4月10日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

日本好配当株オープン

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

日本好配当株マザーファンド

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株 式	百万円 2,854	百万円 236	% 8.3	百万円 3,036	百万円 354	% 11.7

※平均保有割合 94.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## 日本好配当株オープン

### (2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率 日本好配当株オープン

項 目	当 作 成 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	3,995千円
(b) う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	430千円
(c) (b) / (a)	10.8%

※売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年10月12日から2023年4月10日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2023年4月10日現在)

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本好配当株マザーファンド	千口 4,945,476	千口 4,803,980	千円 12,409,641

※日本好配当株マザーファンドの作成期末の受益権総口数は5,072,038,546口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項 目	作 成 期 末	評 価 額	比 率
	口 数		
日本好配当株マザーファンド	千円	千円	%
日本好配当株マザーファンド	12,409,641	12,409,641	99.6
コール・ローン等、その他	54,191	54,191	0.4
投資信託財産総額	12,463,832	12,463,832	100.0

## 日本好配当株オープン

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年1月10日) (2023年4月10日)

項 目	第 68 期 末	第 69 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>11,894,254,908円</b>	<b>12,463,832,780円</b>
コール・ローン等	5,546,640	2,087,415
日本好配当株 マザーファンド(評価額)	11,833,006,276	12,409,641,228
未 収 入 金	55,701,992	52,104,137
<b>(B) 負 債</b>	<b>59,436,550</b>	<b>52,011,746</b>
未 払 収 益 分 配 金	15,416,286	15,289,749
未 払 解 約 金	7,572,543	1,396
未 払 信 託 報 酬	36,173,627	36,173,787
そ の 他 未 払 費 用	274,094	546,814
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>11,834,818,358</b>	<b>12,411,821,034</b>
元 本	7,708,143,275	7,644,874,555
次 期 繰 越 損 益 金	4,126,675,083	4,766,946,479
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>7,708,143,275口</b>	<b>7,644,874,555口</b>
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	<b>15,354円</b>	<b>16,235円</b>

※当作成期における作成期首元本額7,798,523,664円、作成期中追加設定元本額140,694,279円、作成期中一部解約元本額294,343,388円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

[自2022年10月12日] [自2023年1月11日]  
[至2023年1月10日] [至2023年4月10日]

項 目	第 68 期	第 69 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>△ 607円</b>	<b>△ 145円</b>
受 取 利 息	8	6
支 払 利 息	△ 615	△ 151
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>△ 95,607,385</b>	<b>720,331,800</b>
売 買 益	4,170,801	730,401,502
売 買 損	△ 99,778,186	△ 10,069,702
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 36,447,725</b>	<b>△ 36,446,519</b>
<b>(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)</b>	<b>△ 132,055,717</b>	<b>683,885,136</b>
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>4,205,614,581</b>	<b>3,988,570,337</b>
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>68,532,505</b>	<b>109,780,755</b>
( 配 当 等 相 当 額 )	( 1,054,610,620 )	( 1,086,750,927 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( △ 986,078,115 )	( △ 976,970,172 )
<b>(G) 合 計 (D + E + F)</b>	<b>4,142,091,369</b>	<b>4,782,236,228</b>
<b>(H) 収 益 分 配 金</b>	<b>△ 15,416,286</b>	<b>△ 15,289,749</b>
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	<b>4,126,675,083</b>	<b>4,766,946,479</b>
追 加 信 託 差 損 益 金	68,532,505	109,780,755
( 配 当 等 相 当 額 )	( 1,054,649,417 )	( 1,086,831,957 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( △ 986,116,912 )	( △ 977,051,202 )
分 配 準 備 積 立 金	4,561,152,324	4,673,169,668
繰 越 損 益 金	△ 503,009,746	△ 16,003,944

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 68 期	第 69 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	205,502,860円
(b) 経費控除後の有価証券 売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	1,054,649,417	1,086,831,957
(d) 分配準備積立金	4,576,568,610	4,482,956,557
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,631,218,027	5,775,291,374
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	7,305.54	7,554.46
(f) 分配金	15,416,286	15,289,749
1 万 口 当 た り 分 配 金	20	20

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第 68 期	第 69 期
		20円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# 日本好配当株マザーファンド

第35期（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

信託期間	無期限（設定日：2005年10月24日）
運用方針	■わが国の好配当株式へ分散投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) TOPIX (東証株価指数)		株式組入率 比	株式先物率 比 (買建-売建)	純資産額
	期騰落率	中率	期騰落率	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
31期 (2021年4月8日)	21,730	22.7	1,951.86	17.9	96.2	2.9	12,870
32期 (2021年10月8日)	22,912	5.4	1,961.85	0.5	96.2	2.3	12,625
33期 (2022年4月8日)	23,952	4.5	1,896.79	△ 3.3	96.2	2.2	12,797
34期 (2022年10月11日)	24,519	2.4	1,871.24	△ 1.3	97.0	2.2	12,859
35期 (2023年4月10日)	25,832	5.4	1,976.53	5.6	97.0	2.3	13,102

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) TOPIX (東証株価指数)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比 (買建-売建)
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022年10月11日	円 24,519	% -	1,871.24	% -	% 97.0	% 2.2
10月末	25,039	2.1	1,929.43	3.1	97.0	2.2
11月末	25,501	4.0	1,985.57	6.1	97.0	2.3
12月末	24,633	0.5	1,891.71	1.1	96.9	2.2
2023年1月末	25,419	3.7	1,975.27	5.6	96.8	2.3
2月末	25,976	5.9	1,993.28	6.5	96.7	2.2
3月末	26,258	7.1	2,003.50	7.1	96.8	2.3
(期 末) 2023年4月10日	25,832	5.4	1,976.53	5.6	97.0	2.3

※騰落率は期首比です。

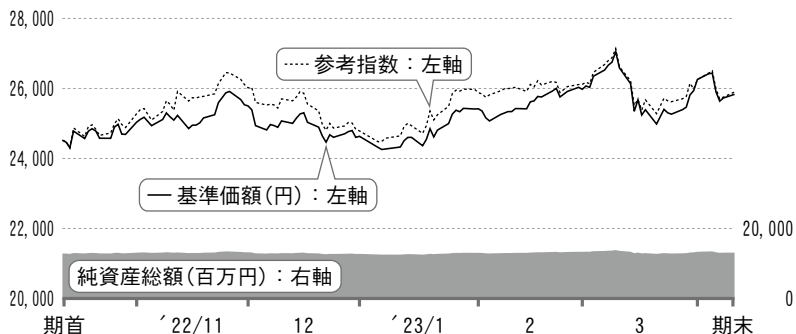
※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。



# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

### 基準価額等の推移



期首	24,519円
期末	25,832円
騰落率	+5.4%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、TOPIX（東証株価指数）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

個別銘柄の“予想配当利回りの水準”に着目しつつ、配当の安定性や成長性、企業の業績動向、株価のバリュエーション（投資価値評価）を勘案して銘柄選択を行いました。

### 上昇要因

- ・インバウンド回復期待が高まったこと
- ・中国景気回復などから景況感底打ち期待が高まったこと

### 下落要因

- ・日銀が金融政策を修正したこと
- ・米国の銀行破綻から金融不安が広がったこと

## ▶ 投資環境について（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

期間における国内株式市場は上昇しました。

2022年末に日銀が市場の予想に反し金融政策を修正したことから急速な米ドル安・円高が進んだ場面では、リスク回避の動きが一時的に強まりました。しかし、ワクチン接種進展による経済活動正常化や米ドル高・円安の進展を背景とした国内企業業績の回復期待が支えとなり、前半は概ね横這い圏で推移しました。

年が明けると、米国でのインフレと利上げペース鈍化への期待や、国内でのコロナ禍からの経済活動の再開期待が支えとなり、じり高の展開となりました。しかし、米国の銀行破綻に欧州大手金融機関の経営不安の報道が重なったことで金融不安が広がると、欧米でリスク回避の動きが強まり、下落しました。その後、各国金融当局が不安解消に向け、預金保護や資金供給などの対応策を迅速に打ち出したことから金融システムに対する過度な不安が和らぎ、期末にかけて持ち直す展開となりました。

## ▶ ポートフォリオについて（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

ポートフォリオの構築に当たっては、引き続き予想配当利回りの高さや株価の割安性に着目しつつも、流動性、財務安定性、業績動向、利益成長性および株主還元政策、将来の配当の安定性や成長性等も勘案して、投資する銘柄を選別しました。

### 株式組入比率

実質株式組入比率は9割以上に保ちました。

### 業種配分

期末の業種配分比率につきましては、市場対比では卸売業、建設業、情報・通信業などのウェイトを高くしています。一方、電気機器、サービス業、食料品などのウェイトを低くしています。

### 個別銘柄

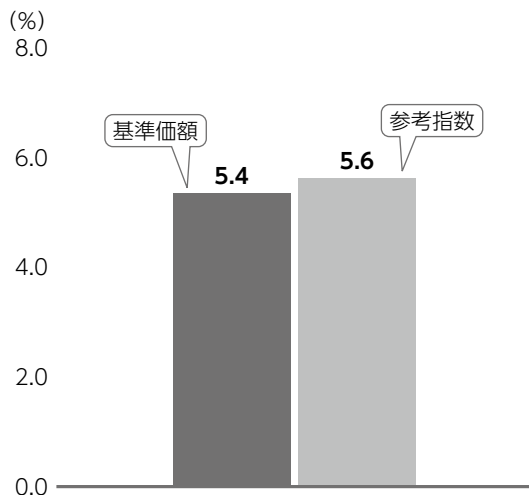
日本電信電話、武田薬品工業などを高い比率で保有しています。

### ポートフォリオの特性

高配当利回り、純資産・予想収益面から割安な特性です。

▶ ベンチマークとの差異について（2022年10月12日から2023年4月10日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてTOPIX（東証株価指数）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 2 今後の運用方針

運用方針としては、引き続き、銘柄の“予想配当利回りの高さ”や株価の割安性に着目しつつも、業績動向、利益成長性および株主還元政策、将来の配当の安定性や成長性等も勘案して銘柄選択を行って参ります。

また同一セクター内でも業績格差が拡大する傾向が続くとみていることから、業績見通しを精査し、堅調な業績が見込める企業への選別投資を進めていく方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2022年10月12日から2023年4月10日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	8円 (8) (0)	0.032% (0.032) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	8	0.032	

期中の平均基準価額は25,262円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年10月12日から2023年4月10日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 1,012.4 ( 109.2)	千円 2,854,706 ( -)	千株 1,219.5	千円 3,036,456

※金額は受渡し代金。

※（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新 規 買 付 額	決 済 額	新 規 売 付 額	決 済 額
国 内	株 式 先 物 取 引	百万円 594	百万円 598	百万円 -	百万円 -

※金額は受渡し代金。

## ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5,891,163千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	12,713,222千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.46

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年10月12日から2023年4月10日まで)

### (1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A		うち利害関係人 との取引状況D	D C	
株 式	百万円 2,854	百万円 236	% 8.3	百万円 3,036	百万円 354	% 11.7

### (2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	4,226千円
(b) うち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	454千円
(c) (b)／(a)	10.8%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年10月12日から2023年4月10日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年4月10日現在)

(1) 国内株式

銘柄	期首(前期末)	期	末
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>鉱業 (0.9%)</b>			
INPEX	82.7	82.7	119,501
<b>建設業 (5.7%)</b>			
西松建設	31.5	31.5	108,360
大和ハウス工業	42.7	39.7	123,427
ライト工業	56.4	56.4	109,190
ユアテック	60	60	47,880
関電工	79	79	73,707
太平電業	45.6	45.6	179,436
明星工業	101	101	81,002
<b>食料品 (0.9%)</b>			
日清製粉グループ本社	75	75	118,200
日本ハム	23.8	—	—
<b>化学 (7.1%)</b>			
クレハ	9.8	5.6	45,696
東ソー	—	75	132,225
セントラル硝子	24.1	24.1	68,178
信越化学工業	—	120	475,680
第一稀元素化学工業	75	75	74,700
三菱瓦斯化学	19.8	—	—
花王	26	10.8	56,268
JSP	34.5	34.5	52,681
<b>医薬品 (6.6%)</b>			
武田薬品工業	117.8	117.8	521,618
アステラス製薬	166	166	318,471
<b>ゴム製品 (0.5%)</b>			
ブリヂストン	38.9	12.9	66,822
<b>ガラス・土石製品 (-)</b>			
日本特殊陶業	55	—	—
ニチアス	30.1	—	—
<b>鉄鋼 (3.9%)</b>			
日本製鉄	95.9	107.9	319,437
大同特殊鋼	—	34	173,060
<b>非鉄金属 (0.5%)</b>			
SWCC	—	35	61,915
<b>金属製品 (1.9%)</b>			
東洋製罐グループホールディングス	90	90	165,690
三和ホールディングス	53.4	53.4	74,226

銘柄	期首(前期末)	期	末
	株数	株数	評価額
日本発条	81.4	—	—
<b>機械 (2.8%)</b>			
小松製作所	44.8	44.8	138,521
アマノ	66.5	66.5	166,250
スター精密	30	30	52,050
<b>電気機器 (4.4%)</b>			
日立製作所	24.9	24.9	181,770
富士電機	34.3	—	—
パナソニック ホールディングス	—	230	278,185
芝浦電子	17.6	17.6	102,608
キヤノン	105	—	—
<b>輸送用機器 (10.3%)</b>			
トヨタ紡織	78.5	78.5	162,652
豊田自動織機	13	13	90,740
デンソー	32.5	9.5	69,977
いすゞ自動車	144	224	338,688
トヨタ自動車	227.9	202.9	370,799
マツダ	144	72	83,088
本田技研工業	84.2	56.2	196,138
<b>その他製品 (1.0%)</b>			
オカムラ	100	100	133,100
<b>電気・ガス業 (1.1%)</b>			
中国電力	100	—	—
東京瓦斯	90.6	55.7	136,353
<b>陸運業 (4.4%)</b>			
山九	—	20.6	95,584
センコーグループホールディングス	171.9	171.9	159,523
九州旅客鉄道	102.7	102.7	305,737
<b>倉庫・運輸関連業 (0.4%)</b>			
住友倉庫	26.5	26.5	56,895
<b>情報・通信業 (12.3%)</b>			
BIPROGY	18.7	21.5	68,800
日本電信電話	189.5	185.2	727,465
KDDI	75.3	124.7	500,171
ソフトバンク	124.5	83.7	125,424
アイネス	36.3	36.3	47,879
NSD	42	42	99,834
<b>卸売業 (10.2%)</b>			
TOKAIホールディングス	109.9	33.8	28,797

# 日本好配当株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		期末	
	株数	株数	評価額	評価額
伊藤忠商事	79.8	79.8	329,095	
兼松	11.3	11.3	18,238	
三井物産	66.3	102.6	405,577	
三菱商事	73.2	37.2	176,848	
伊藤忠エネクス	20.3	20.3	22,147	
東陽テクニカ	90.6	90.6	122,400	
加賀電子	32.7	32.7	151,891	
オートボックスセブン	32	32	46,464	
<b>小売業 (6.4%)</b>				
ローソン	19	7.6	41,344	
アダストリア	81	81	193,266	
J. フロント リテイリング	42.2	42.2	55,788	
セブン&アイ・ホールディングス	9.9	—	—	
ツルハホールディングス	—	16.5	142,065	
しまむら	9.8	9.8	122,402	
丸井グループ	88.6	88.6	180,655	
イズミ	3.2	—	—	
サンドラッグ	—	20.9	74,090	
<b>銀行業 (7.9%)</b>				
三菱UFJフィナンシャル・グループ	326.8	492.6	419,498	
三井住友トラスト・ホールディングス	52.9	37.9	173,885	
千葉銀行	220	170	146,710	
ふくおかフィナンシャルグループ	83.2	61.2	155,264	
山口フィナンシャルグループ	180	130	105,820	
<b>証券、商品先物取引業 (—)</b>				
SBIホールディングス	39.6	—	—	
<b>保険業 (4.3%)</b>				
SOMPOホールディングス	36.3	36.3	191,337	
第一生命ホールディングス	11.7	15.6	38,649	
東京海上ホールディングス	123.6	123.6	319,876	

銘柄	期首(前期末)		期末	
	株数	株数	評価額	評価額
<b>その他金融業 (2.1%)</b>				
オリックス	37.2	76.1	165,441	
三菱HCキャピタル	150	150	102,300	
<b>不動産業 (2.6%)</b>				
大東建託	—	11.1	151,293	
野村不動産ホールディングス	45	35.2	104,297	
スターツコーポレーション	32.7	32.7	80,115	
<b>サービス業 (1.5%)</b>				
ベルシステム24ホールディングス	78	78	108,888	
アイモバイル	66	64.7	83,074	
合計	株数・金額	千株	千株	千円
	銘柄数<比率>	5,893.4	5,795.5	12,713,133
		82銘柄	80銘柄	<97.0%>

※銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## (2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	期末	
	買建額	売建額
国内	百万円	百万円
T O P I X	296	—

## ■ 投資信託財産の構成

(2023年4月10日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
株	12,713,133	95.4
コール・ローン等、その他	618,068	4.6
投資信託財産総額	13,331,202	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年4月10日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>13,331,202,515円</b>
コール・ローン等	199,230,712
株式(評価額)	12,713,133,910
未収入金	169,891,983
未収配当金	228,770,910
差入委託証拠金	20,175,000
<b>(B) 負 債</b>	<b>229,195,189</b>
未払金	177,089,732
未払解約金	52,104,137
その他未払費用	1,320
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>13,102,007,326</b>
元 本	5,072,038,546
次期繰越損益金	8,029,968,780
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,072,038,546口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>25,832円</b>

※当期における期首元本額5,244,800,638円、期中追加設定元本額46,533,535円、期中一部解約元本額219,295,627円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

日本好配当株オープン	4,803,980,036円
グローバル資産分散オープン	268,058,510円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2022年10月12日 至2023年4月10日)

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>242,081,885円</b>
受 取 配 当 金	242,146,810
受 取 利 息	1,357
そ の 他 収 益 金	387
支 払 利 息	△ 66,669
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>415,649,145</b>
売 買 益	820,787,651
売 買 損	△ 405,138,506
<b>(C) 先 物 取 引 等 損 益</b>	<b>20,154,000</b>
取 引 益	26,620,500
取 引 損	△ 6,466,500
<b>(D) そ の 他 費 用 等</b>	<b>△ 6,491</b>
<b>(E) 当期損益金(A+B+C+D)</b>	<b>677,878,539</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>7,615,062,095</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 334,963,120</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>71,991,266</b>
<b>(I) 合 計(E+F+G+H)</b>	<b>8,029,968,780</b>
<b>次期繰越損益金(I)</b>	<b>8,029,968,780</b>

※有価証券売買損益および先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。